

世帯と人口

(昭和63年7月1日)

世帯 32,193 (+63)

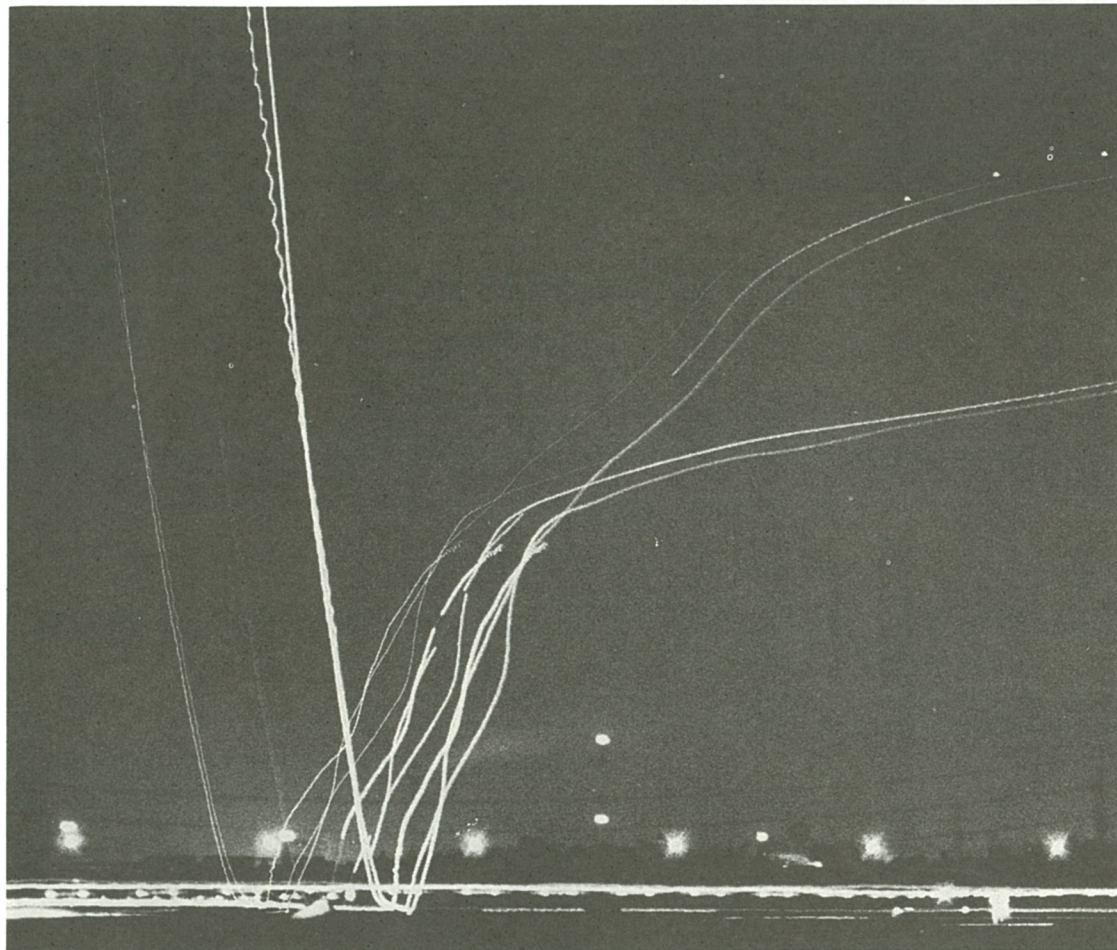
人口 100,667人 (+152)

男 51,760人 女 48,907人

# 広報 えびな

編集・発行  
海老名市役所秘書広報課

〒243-04  
神奈川県海老名市国分155  
☎ (0462) 31・2111



厚木基地でタッチ・アンド・ゴーを繰り返す米軍ジェット機 (7月18日撮影)

## 超党派で「静かな夜」を

### 知事、周辺7市、国会議員などで 厚木基地騒音対策協議会設立

#### 8月中旬に発会式



「眠れぬ夜」を視察 7月6日の首長会議後、関係者は近くのデパートに移動して30分間NLPを視察。この間、最高騒音測定値は103ホンを記録した。——写真提供は神奈川新聞社——

#### 市民生活の保持 ・増進に努力

海老名市長 左藤 完



人口密集地域の中での厚木基地の飛行訓練自体が不適当であると私は考えています。根本的解決のためには、基地がなくなるという考えがよりよいわけですね。

厚木基地での米軍ジェット機による訓練飛行は、基地周辺の住民に多大な騒音被害を与えています。特に、米空母ミッドウェーのジェット機による夜間連続離着陸訓練(NLP)は、市民生活から夜のやすらぎを奪い忍耐の限度を越えている感があります。

この騒音問題を県、市が一丸としても、短期間に解決できる問題ではありません。

今回、県と周辺七市長が集まり、県と市が一丸となつて「厚木基地騒音対策協議会」を設置することで合意を得ました。市民生活の環境保持・増進に努力をいたしています。

また、代替基地問題についても非常に強い関心を寄せています。国にも最大の努力を重ねてもらい一日も早い解決ができるよう、海老名市長として、あらゆる機関、市長会などを通じて考えていきたいと考えています。

となつて解決するため「厚木基地騒音対策協議会」が、今月中旬に発足することになりました。同協議会は、七月六日、綾瀬市立中央公民館で行われた首長会議(県知事と厚木基地周辺七市長で構成)で長洲県知事が提案し、設置することで合意されたもので、これまでに行政と議会が各層に行ってきた国や米軍への要請、陳情などを統一し、より強固なものとするを目的としています。

協議会の構成は、県知事と海老名市長を含む厚木基地周辺の七市長、県議会議員、七市議会議員、三区選出の衆議院議員と県選出の参議院議員など総勢二十九人。当面の活動は①国や米軍などへの要請体制の強化②騒音問題の情報交換③代替訓練施設の早期実現など騒音対策の協議などです。

航空機騒音解消のための超党派による組織作りは初めてのケースです。関係各機関は八月中旬に行われる一回目の「厚木基地騒音対策協議会」に向け、綿密な準備を進めています。

関連記事四面に



# 夏 元気になっていますか



## 大切な食事と運動

夏を乗り切る体力を保ち夏バテを防ぐには、食事と運動が大きなポイントになります。

●バランス良く食べる  
健康の土台は、食事によつて取る栄養にあります。食事は習慣や好みにまかされていると、栄養のバランスが崩れがちです。暑い夏に負けないためには、次の各食品群をきちんと食べるのが大切です。

◎牛乳・乳製品・卵・良質のタンパク質、カルシウム、ビタミンAなどをバランスよく含んでください。

◎魚介・肉・豆の筋肉や

## 夏バテと食中毒に注意

夏は暑くて当たり前といふものの、連日の猛暑は体にたえます。この暑い夏を乗り切るために注意したいのが、夏バテと食中毒です。また、暑い日が続きます。健康な体を夏を過ごすための情報をお知らせします。

## 冷蔵庫の過信は禁物

高温多湿な日本の夏は、食中毒が発生しやすい季節です。聞きなれた病名ですが、集団で発生したり、短時間で間に死にいたる場合もある。怖い病気なので、十分な注意が必要です。

食中毒という病は、細菌やウイルスが食品に付着して増殖することによって起こります。食中毒の原因は、食中毒菌が食品に付着することです。食中毒菌は、食中毒菌が食品に付着することによって増殖することによって起こります。

### 夏に弱くありませんか

あなたの夏バテ度チェック

☆あてはまるものに○印をつけてください

- 朝食をとらない
- 水分を多くとらない
- 昼食にざるそばなど、あっさりしたものを好んで食べる
- かき氷をよく食べる
- 食事の量が少ない
- 眠れない日が多い
- 慢性的に運動不足である
- 冷房のある部屋にいることが多い

○印の4つ以上ある人は、夏バテに要注意です。



食中毒は、食中毒菌が食品に付着することによって増殖することによって起こります。食中毒菌は、食中毒菌が食品に付着することによって増殖することによって起こります。



### 8月の自動車文庫

絵本は大人に読んでほしい本です。小さい時からいろいろな本を読んでもらうことで豊かな心が育ちます。家庭での絵本の読み聞かせに加えて、図書館のおはなしひろばで同年齢の子供たちと一緒に楽しむ機会を過してしまいませんか。

巡回場所	巡回日
今里八幡宮	10月24日 午後3時～4時
海老名市農協支所	4月18日 午後2時30分～3時
大谷真 野田	10月24日 午後2時～2時50分
柏ヶ谷第2児童公園	4月18日 午前10時30分～11時30分
柏ヶ谷第2児童公園	12月26日 午後3時～4時
東原第2児童公園	9月23日 午後2時30分～3時
上今泉第2児童公園	11月25日 午後3時～4時
上今泉第4児童公園	2月16日 午後3時～4時
上今泉第4児童公園	3月17日 午後10時30分～11時30分
下今泉テニスコート	5月19日 午後5時～6時
社家児童公園	9月23日 午後3時～4時
社家児童公園	9月23日 午後3時～4時
杉久保第2児童公園	10月24日 午前10時30分～11時30分
杉久保児童公園	3月17日 午後3時～4時
中野公民館	12月26日 午後3時～4時
浜田歴史公園	11月25日 午前10時30分～11時30分
東柏ヶ谷第4児童公園	9月23日 午後3時～4時
本郷児童公園	4月18日 午後3時～4時
望地道上公園	2月16日 午前10時30分～11時30分

## 航空騒音

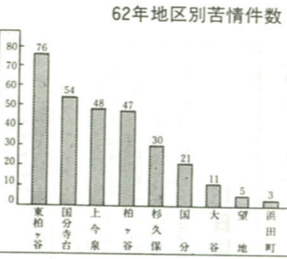
# こんなものいらない

## 市内全域がNLLPの影響でうるさい夜

316件の苦情が  
最高109ホンの記録も



NLLPの騒音で辛い夜のひとときが台無し



### 国・米軍に要請

#### 飛行訓練中止など

市では航空機騒音解消のため、夜間連続離着陸訓練飛行の即断を要請している。

市では、離着陸訓練実施日に、訓練終了まで市職員を配置して、市民の方々の苦情についてお聞きし、今後の基地対策の資料の一つとしてきた。地区別の苦情件数は上表のとおりで、最も多いのは離着陸訓練中止または軽減を求めた地区であった。

航空機騒音の苦情は陸軍防衛施設事務所(01・4・433333)へ  
主な苦情内容  
☆昼夜を分けた訓練は中止された。特に午後九時以降の飛行は絶対行わないでほしい。  
☆家族の中に病人があり、騒音で精神的にまいっている。  
☆航空機騒音で家族団らんができない。テレビ、電話の音が聞けない。



市内6カ所に騒音測定機器を設置

時中止を求める要請をはじめ、次のようになっています。

●要請・抗議  
行動：NLLPの通告や実施の日、外務大臣、防衛施設庁や日本米軍司令官、厚木航空施設司令官などに即時中止などの要請行動をとっています。

●住宅防音工事  
米空母艦載機、月に騒音測定を開始して、最多の四千回以上を記録したほか、昼夜にわたって長期の離着陸訓練が行われた七月から十月にかけては、一月間に約二千回を記録しています。(期間中、二百三十件もの苦情が市に寄せられていますが、これは年間苦情件数三百六十六件の実に七三%にあたります)



### 海老名の坂(28)

#### 樽井の坂

地域を樽井と呼ぶようになったという樽井の坂とは、つまりこの地名を冠したものである。

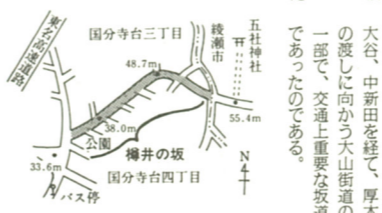
かつての坂の上り口は釜坂川の源流にかかる橋の所から始まった。左右はほとんど雑木林で、付近にはむじな、狸、狐、野うさぎなどの獣が住んでいた。体長一メートルの白狐もあつたと見られていたが、杉久保の人が撃ちとり、銃に四脚を縛りつけ、背負って行ったこともあったという。

また、坂下を南北に流れる溝川に近い釜坂川には、魚やエビ、カなどもあつてきていて、坂の上の子どもたちは釣を楽しんだというから、本当に豊富な自然があつたところである。

この坂は磯橋市方面から大谷、中新田を経て、厚木の渡しに向かう大山街道の一部で、交通上重要な坂道であつたのである。



この水不足を解消するため、地下水の利用を考えたが地盤が軟弱で少し掘ると土が崩れてしまう。そこで酒樽の縁と底を抜いて、それをいくつか埋めながら井戸を掘った。しかし、酒樽は中に入った作業は困難なので、樽油を仕込む樽味桶を利用した井戸が諸々にあつたところから、この





# フォトピックス

## ごみ4トを収集

美化活動に6百人参加

七月十七日、海老名駅周辺美化キャンペーンが行われ、園分の自治会や子ども会、老人クラブ、商工会関係者など約六百人が地区のゴミ拾いを行った。参加者は午前八時に自宅を出て、途中、道路上のゴミを回収しながら集合場所の海老名中央公園へと向かった。一時間後には、約四トのゴミ



また空カンあった！...

七夕の日を前にした七月二日、東建ニューハイツ海老名自治会(豊田雄三会長、四八六戸)で、同団地を南北に走る市道の街路二百々に、五びほどの五宗竹に飾りつけられた「七夕」十七基がおめえした。同自治会は、十七棟の高層住宅で構成されており、同地区にあすの子供会と同育成会が各棟ごとに趣向を凝らして飾りつけを行ったもの。その出来はえによって、アイデア賞、おと姫賞など特別賞が表彰されることあって、各棟ごとに特色を持たせた飾りつけに苦心のあとが伺えた。



街路いっばいに飾られた七夕かざり

## 神輿でワツシヨイ

有鹿神社で例大祭

七月十日、有鹿神社(小島肅和宮司)で、例大祭が盛大に行われた。神輿も改修され、参道四百々に参道会の手によって、提灯が埋めつくされ、約三千人の人が参拝に訪れた。この日は、子供神輿ややし連の山車も繰り出され、河原口や上郷地区を巡った。有鹿神社は「郷社」という由緒を持つ名社で、「有鹿様の水もらい」は有名。鳩川用水の水源地である有鹿谷(相模原市磯部の勝坂)で「水もらいの神事」が行われているが十四日には、宮司と氏子総代によって古式に従って行われた。

## 心こめて味わう

農業体験交流会に40人

六月二十九日、農業体験交流会が河原口一七九番地の畑



このジャガイモは、ほくらが掘ったんだよ

で開かれ、さつき町自治会の主婦や近隣の農業経営者ら四十人が、玉ネギとジャガイモ掘りをを行った。この交流会は、農業に対する理解を地域の人たちに深めてもらうため、農家の人たちと一緒に

に野菜作りを体験してもらうもので、市農業委員会が三年前から行っている。今回は、約五アールの畑から計六百本の玉ネギとジャガイモを収穫し、その後、サツマイモとトウモロコシの作付けを行った。約三時間の作業を終え、収穫を分配した参加者からは、「作付けや草取りをしながら育てた作物は、市販のものより重みがある。今夜は農作業の楽しさ、苦しさを思いながら味わいたい」との声も...



神輿も改修され盛大だった有鹿神社の例大祭

# 海老名むかしむかし

## 第189話 岩船地蔵

享保(一七一六—一七三六)年(のうま)で建てられた。関東の国々は、大風雨に見舞われ、せつかく丹精した田畑の作物も収穫無となり、農民は実に悲惨な生活を強いられた。

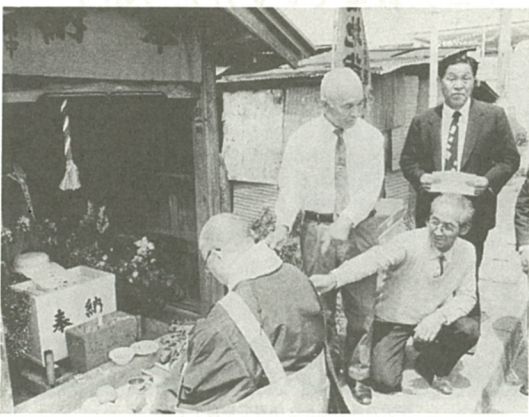
その尊像を府中街道添いにあった池の傍らに建立し、盛大に供養を営んだ。その後、誰言うとなくこの地蔵を「池端地蔵」と親しむ呼ぶようになった。それから幾年か経った。連地区では日本三大地蔵の一つである下野国(栃木県)下都賀郡岩舟町高勝寺の「岩船地蔵尊」にあこがれ、度々参詣して深い関係を持つようになった。そこで「池端地蔵」を村はずれの八王寺街道添いに移し、その名も「岩船地蔵」と改めた。

念仏修行は、ありがたや南無阿弥陀仏、あみだぶつ



今から260年も昔に建立された岩船地蔵

この地蔵尊には、何代目かの遊行寺(藤沢)の上人が諸国行脚の折、立ち寄りたとも伝えられており、また、霊験あらたかなので昔から近郷近在の人々の尊敬を集め、参詣する人も絶えなかった。現在連地区では、毎月二十四日に輪番で二人ずつ出でては岩船地蔵の清掃を続けている。これは、創建当時から連綿と続けられてきた地区民の熱意ある奉仕である。そして機会あるごとに大祭を行ってきたが、今年四月二十四日に十年ぶりかの大祭を執行した。とん汁、おしろい、こ、ませご飯、餅油飯、白飯のおむすびという大盤振舞をするやら、踊り、カラオケなどの余興で祭りを盛り上げるやうで、すいぶんにぎやかな一日であったといふ。栃木の高勝寺の住職を招いて供養を営んだことは、申すまでもない。(池田 武治)



高勝寺の住職を招いて10数年ぶりの大祭

郷土の昔話を知りたいあなたに!

### 「海老名むかしむかし」

第1・3集有料配布中

各巻五〇円、A5判、上製本

秘書広報課へ 内線296

海老名むかしむかし

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

7月26日-8月8日 第16話 社家の三島社の神木と大蛇

8月9日-8月22日 第17話 赤池と片葉草

333-3838